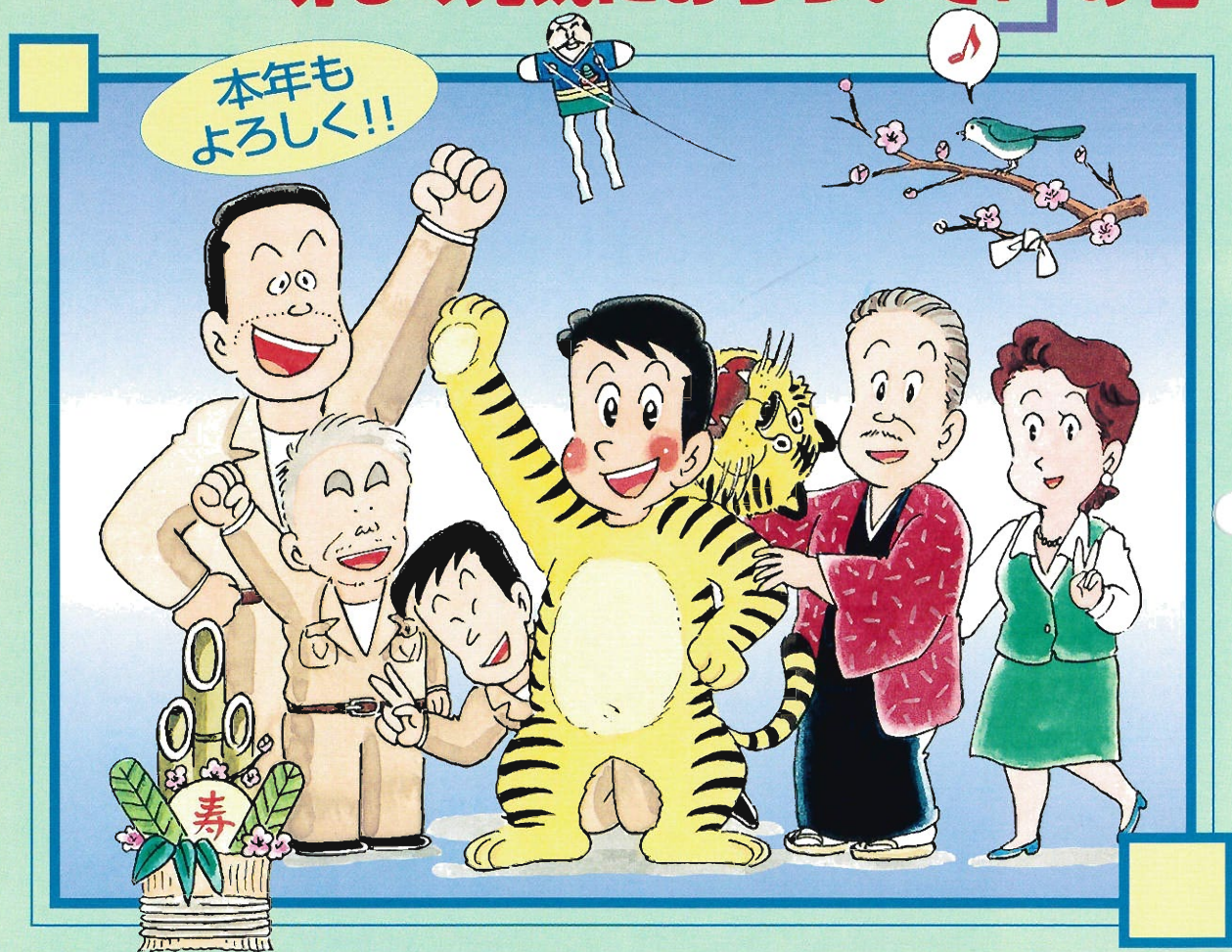


安全くん

31

**安全は、みんなの願い!!
明るく元気におちついて!」の巻**



この『安全くん』は、インターネット上に
ホームページを開設しています。
こちらの方も御覧ください。

12月よりインターネットホームページのURLが下記に変更
しました。旧のURLからもジャンプできるように設定しておりま
すので、ブックマークの変更をお願いします。

<http://www.nishio-rent.co.jp/anzenkun/>

それ行け!!

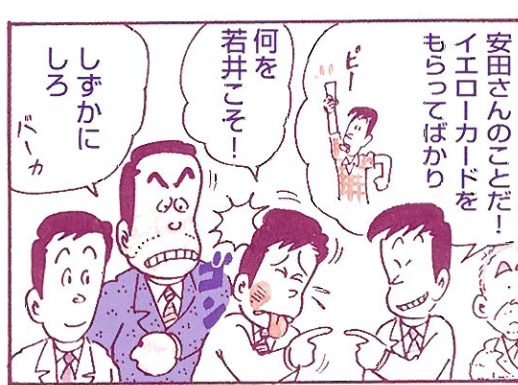
画 中村よしのぶ

安全くん

連載 その31

「安全はみんなの願い！
明るく元気におちついて！」の巻





解説コーナー 「アイドリングコントロール」 ～地球温暖化防止を考える～

地球温暖化防止京都議定書が開かれ、排ガス規制の問題がさらにクローズアップされてきました。

建設機械の分野においても騒音の低減に続き、排ガスの抑制も進み、建設省からの型式認定を受けた機種が増えています。また、建設省の工事で平成8年度以降順次機種により認定機種しか使ってはならないことになりました。

このように、機械や車両自体の排ガス対策は進行しているのですが、運転者の認識はまだこれからと言ったところではないでしょうか。しかし、『無用なアイドリングをしない』という活動から始めている企業も増えてきました。付近への騒音の問題もあり、エンジンを切った現場への入場待ちをするダンプトラックが多くなってきました。

建設機械でも、運転者の腰ベルトにひもでキーをつないでおき、機械から離れる際にはエンジンを切って、キーを抜かねばならないようにすることで、打ち合わせ時や施工部分の点検時のアイドリングを防止している企業もあります。これは第三者に機械を触らせないというキーの管理の徹底に加え、燃費の向上という効果も期待できます。

このように、排ガスの抑制は、騒音の抑制、燃費消費の軽減、機械の安全管理という側面もあり、一定のルールをきめて機械の運用をすることで、その実効は数値化できるのではないのでしょうか。

◆20台の車両・重機を毎日10分間アイドリングをコントロールすると、年間0.4t～0.5tの二酸化炭素を抑制できるとか。
「アイドリングコントロール」キャンペーンをお勧めします。

■建設機械の排出ガス対策について／建設省所管直轄工事において、排出ガス対策型建設機械の使用を義務付けられます。

平成8年度より	対象機種
トンネル工事用建設機械	●バックホウ●大型ブローカー
	●トラクタショベル
(ディーゼルエンジン)	●コンクリート吹き付け機
(出力30～260kW)	●ドリルジャンボ●ダンプトラック
	●トラクタミキサ

平成9年度より	対象機種
一般工事用主要3機種	●バックホウ
	●トラクタショベル
(ディーゼルエンジン)	●ブルドーザ
(出力7.5～260kW)	

平成10年度より	対象機種
普及台数の多い建設機械	●発電機(可搬式、溶接用機を含む)
(一般工事用)	●空気圧縮機(可搬式)
	●油圧ユニット(基機工事用機で独立したもの)
(ディーゼルエンジン)	●ローラ(ロードローラ、タイヤローラ、輾磨ローラ)
(出力7.5～260kW)	●ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)



解説コーナー

道路除雪災害防止策

災害事例

①構造物との接触

ショベルローダーの排雪板、ロータリー除雪車のカッティングエッジなどが橋梁の伸縮継手やマンホールなどに引っ掛かって急停車し、運転者や助手が胸や頭部を強打。

②除雪機械の転落

山間部の道路では斜面の積雪が道路上に堆積し、雪崩れが発生しやすい状態に。また路肩の識別が困難であったり、機械の横滑りで谷側に寄りすぎて転落。

③その他

エンジンを切らずに、シュートやロータリーにつまんだ雪を除こうとして指先を切断。夜間、早朝時の凍結による転落や除雪機からの落下など。

防止対策

①構造物との接触

●雪崩、地滑り、路肩の異常などの危険区間や、断差、突出など道路上の障害物について調査し、安全情報マップを作成、作業員に配布する。

●運転者、助手には、シートベルトの使用を徹底する。

②除雪機械の転落

●道路上方の雪が掘削しても雪崩れのおそれがあるまでは、作業を中止する。

●除雪によって山側に根切りされた状態の堆雪が残ると予想されるときは、予め堆雪を除いてから除雪作業を行う。

●除雪機械に資格を有する運転者および助手を乗務させる。

●誘導員(または助手)は、安全情報マップにより、路肩異常部分や障害物の情報を運転者に知

らせたり、機体が常に山側に傾斜して作業するよう誘導する。

●誘導員には路肩標識、警笛、合図の器具を携行させ、上着はオレンジ色など識別が容易なものを着用させる。

●除雪機械には左右バックミラーの他、後部確認のためのアンダーミラーを装備する。

●運転席を離れるときは、点検時も作業装置をおろし、エンジンを止め、ブレーキをかける。

③その他

●ロータリー部分やその他回転部分には手を入れない。

●機械前部に作業員を近寄らせない。

●道路が凍結したときの走行には、道路の勾配、傾斜によるスリップ横滑りに注意する。



ガンさんのフシポイントレッスン

～冬の健康管理と機械の管理について～

冬は気温の低下、乾燥、雪、凍結、と人体にも、建設機械にも悪影響を与えるものばかり。夏の暑さにも閉口しますが、冬も大変…。

1) 自分の体調をチェックさせ、力ぜなどの予防をよびかける！

職長は、仕事の内容と時間帯、作業の場所をよく把握し、服装に配慮する事。

体を動かす作業が続くのか、じっとしている時間が長いのか。外での作業、風を受ける場所での作業、その繰り返しなど、朝のミーティング時、その日の天候や作業環境とメンバーの年齢、体調、服装をよくチェックし、無理のない配置を。特に、朝一番は気温も上がっておらず、体も動きにくいので注意のこと。次に、暖かいところでとった昼食や休憩後もご注意ください。この時期、職長が仕事を進める上で、メンバーの健康管理も重要なポイントです。

2) 寒冷期、ちょっとした配慮で機械の健康維持を！

不凍液の準備やエンジンオイルへの配慮は当然ですが、バッテリーの能力・充電率の低下によるバッテリー液凍結への対策も必要です。翌朝の始動に備え、毎日作業終了時に充電率を100%に近い状態にチェック。その他、北風を避け、ラジエターを南向きにするこやシートをかぶせ保温対策を。

凍結防止

- 作業終了後、機体に付いた泥や水を落としておくこと。乾燥した固い地面に駐車できない場合、板などを敷けば、翌朝もスムーズに発進できます。
- ドレンコックを開いて燃料系統にたまった水を出し、凍結の防止を。終業時、燃料を満タンにし、空気が残らないようにするのも効果的。散水車の水抜き、コンプレッサーのエアタンクの水抜き、予熱系統の点検も忘れずに！





貸 RENT NISHIOの新鋭機紹介②
高梁道路・橋梁点検車 BT-100

高くないフェンス越しの作業
 国のような高さのフェンスの場合は、ブームを水平に伸ばして外側の作業ができます。デッキの回転で位置合わせもスムーズなもの、広い範囲の作業が行えます。



解説コーナー 建設の儀式…母なる大地への祈願

古来から、日本人は大地に神が宿ると考え、土地に住んだり、企業を営むような場合は、「母なる大地」に報告して繁栄を祈り、守護を願う風習がありました。建築工事に際しても土地の平安と工事の安全を祈る祭式として地鎮祭、起工式、立柱式、上棟式、定礎式、清祓式、鍍工式、落成式などがありますが、なかでも随所で基本となるのが地鎮祭です。工事に取りかかる前に敷地を借り受けることを願い土地の災いを祓い、建築の安泰を祈願します。最近では工事によって迷惑のかかる人々へのお願いの意味もこめられています。

■式次第の例（地鎮祭）

開式	
修祓	心身共に清め神に近づく行事
降神	祓い清められた式場へ神をお迎えする
献饌	神饌を神々に供える
祝詞奏上	神威を尊び神の加護を願う
清祓	祭壇に供えた神酒、米、塩、切木綿を敷地中央、四隅にまいてお祓いする
地鎮行事	刈初めの儀、穿初めの儀、鎮物埋納の儀
玉串奉奠	串をお供えし、神を敬う
撤饌	降神の儀で神饌を下げる
昇神	降神の儀でお迎えした神々を元の御座にお帰しする
直会	神酒など神饌のおさがりを頂戴する

※土地は借りもの…こうした謙虚な姿勢が、神に守られ繁栄につながると思われてきました。さらに所有から機能の時代といわれる現代、合理的で有効な資源活用が望まれています。土地が借りもの、つまりレンタルなら、地鎮祭に使う道具もレンタルをお役立ててください。ニシオでは地鎮祭に限らず建築祭式での一切の設営に必要な用品をレンタルしています。



貸 RENT
します

NISHIOの新鋭機紹介③〈ちょっと大きめです〉

- 直屈伸式
スカイマスター
SC-400

- 超小旋回バックホウ PC-128UU

- 交流発電機 DCA-400

- 送風機φ900mmPF90
大風量大口径

- 最大地上高：
40.0m
- 最大作業半径：
20.5m
- バスケット
積載荷重：360kg

- バケット容量：0.45m³

- 周波数：50Hz、60Hz
- 出力：350kVA、400kVA
- 電圧：200/400V、220/440V

